

「なにも言うな
なにも聞くな……」
女の言葉を
唇でさえぎった!

二人を結びつけ、そして引き裂いたやつは誰か
銃声と共に哀しい男の詩が流れる

THE DOMINO
PRINCIPLE

ジーン・ハックマン
キャンディ・ Bergen
スタンリー・クレイマー 監督作品

ドミノ タ ゲット



Mickey Rooney



Eli Wallach



Candice Bergen



Gene Hackman



Richard Widmark

リチャード・ウィドマーク
ミッキー・ルーニー
イーライ・ウォラック
原作/脚本アダム・ケネディ (早川書房刊)
音楽ピリール・ゴルドテンバーク
(ワニ・ミュージック・エンターテインメント)

＜カラー作品＞

アメリカ映画
日本ヘラルド映画



恐るべき組織の暗殺計画とは？



20年の刑でサン・クエンティン刑務所に服役している男、ロイ・タッカー。ある日突然、彼は巨大な陰謀の渦に巻きこまれる。脱獄、逃走、狙撃……サン・フランシスコ、中米のコスタ・リカ、ロスアンゼルスを舞台に、彼は影の組織にあやつられ、全世界を驚倒させる暗殺計画の実行者に仕立てあげられる。

タッカーをあやつる組織とは何か。強大な連絡網を持ち、その組織員にさえ全貌はわからず、彼らはただの歯車ではない。ひとつの計画にも誰しれず二重、三重のチェックが施されている。いっさいの破綻は許されず、ひとたび失敗すると関連する者は次から次へと闇に葬られていく。それはCIA? FBI? それとももっと強大な何か? そして彼らの狙う者は誰なのか。合衆国大統領? 著名な議員? 次第に高まるサスペンスのなかで遂に暗殺は成功する! そして、

今度は逆に狙撃者のタッカーが狙われるのだ。幾重にも伏線を示した、追う者と追われる者の妻まじいアクションと恐るべきクライマックス

クスが待ちうけているのだった。タッカーがベトナムの狙撃兵であったことに始まり、暗殺に至るまで、この作品は現代アメリカの暗黒面をみごとに照らしだしているが、主演のジーン・ハックマンは次のように語る。

「確かに政治的素材を取りあげてはいるが、この映画は、一人の男のアドベンチャー・ドラマであり、同時にラブ・ストーリーなのだ」。

男は黙って銃をとった!それが愛だ!



このロイ・タッカーに暗殺者の道を選ばしたものは何だったのか。それは、彼が生涯に愛したただ一人の女性エリーのためだった。彼はエリーのため殺人罪に問われ服役していた。だが彼の脳裡からエリーの面影が消えたことはなかった。再び彼女に会うために、彼女を守ってやるために、あえて組織の誘惑にのって自由の身になったのだった。タッカーとエリーは念願の生活を中米のコスタ・リカで持つものの、組織はタッカーに狙撃の実行を迫ってくる。タッカーの挙動に不審を抱き、

何故急に自由になったのかと問いつめるエリーに、だがタッカーは真実を語れない。エリーだけはこの事件に巻きこませられない。自分の愛を賭けて迫るエリーに、タッカーは深く彼女を愛するあまり、ひたすら沈黙するしかないのだった。愛ゆえに自縛自縛になった

タッカーを組織は強引に狙撃に追いやるのだった。

これは、政治の暗部で哀しいまでに翻弄される男女の愛を描くと同時に、愛するが故に真実を隠しつつ銃をとり、自ら危険な罠に落ちていく男のストイックなまでの愛のドラマでもある。

Gハックマン Kバーゲン&名匠S・クレイマー



出演者はタッカーに「フレンチ・コネクション」のジーン・ハックマン、その妻エリーに「風とライオン」のキャンデリス・バーゲン。組織側の人間に「合衆国最後の日」のリチャード・ウイドマーク、「ミッドウエー」のエドワード・アルバート、「ザ・ディーブ」のイーライ・ウォラックなど。

製作・監督は「ニールンベルグ裁判」「招かざる客」などのハリウッド正統派のスタンリー・クレイマー。アダム・ケネディのベストセラー小説をケネディ自身が脚色し、「ボギー!俺も男だ」のビリー・ゴールデンバーグが音楽を担当している。

<カラー作品>
アメリカ映画/I・T・C特作

日本ヘラルド映画創立20周年記念作品



ドミノ・ターゲット

THE DOMINO PRINCIPLE

